

BrainPadが提供する データ活用人材育成の支援事例

株式会社ブレインパッド

2020.12.09

本日のアジェンダ

1. BrainPadの紹介
2. DX時代のデータ活用人材の方向性
3. 支援事例

本日のアジェンダ

1. BrainPadの紹介

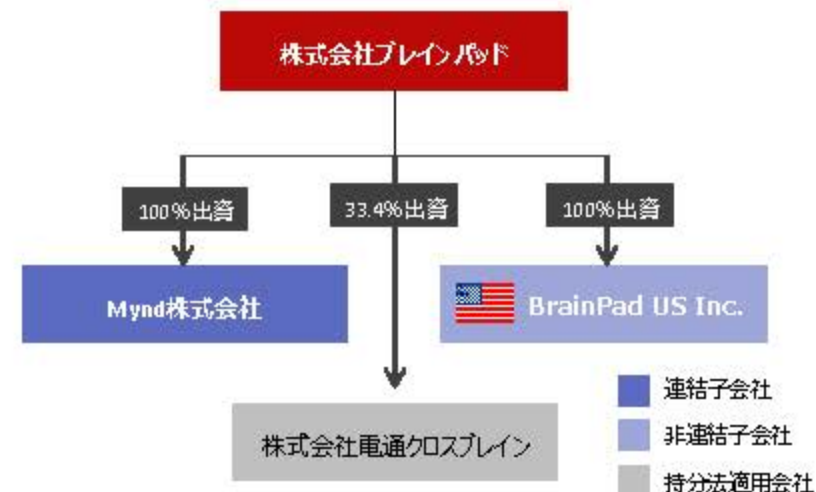
2. DX時代のデータ活用人材の方向性

3. 支援事例

ブレインパッドの会社概要

商号	株式会社ブレインパッド (英文 BrainPad Inc.)
本社所在地	東京都港区白金台3-2-10 白金台ビル
電話番号	03-6721-7001 (代表)
設立	2004年3月18日
上場	2011年9月 東京証券取引所 マザーズ上場 2013年7月 同 市場第一部上場 (証券コード: 3655)
資本金	597百万円 (2020年9月30日現在)
従業員数	383名 (連結、2020年9月30日現在)
役員	代表取締役会長 佐藤 清之輔 (創業者) 代表取締役社長 草野 隆史 (創業者) 取締役 安田 誠 取締役 石川 耕 取締役 塩澤 洋一郎 取締役 関口 朋宏 社外取締役 佐野 哲哉 社外取締役 牛島 真希子 常勤社外監査役 鈴木 晴夫 社外監査役 山口 勝之 社外監査役 大久保 和孝
主な加入団体	・一般社団法人データサイエンティスト協会 ・一般社団法人日本ディープラーニング協会

グループ体制



認証



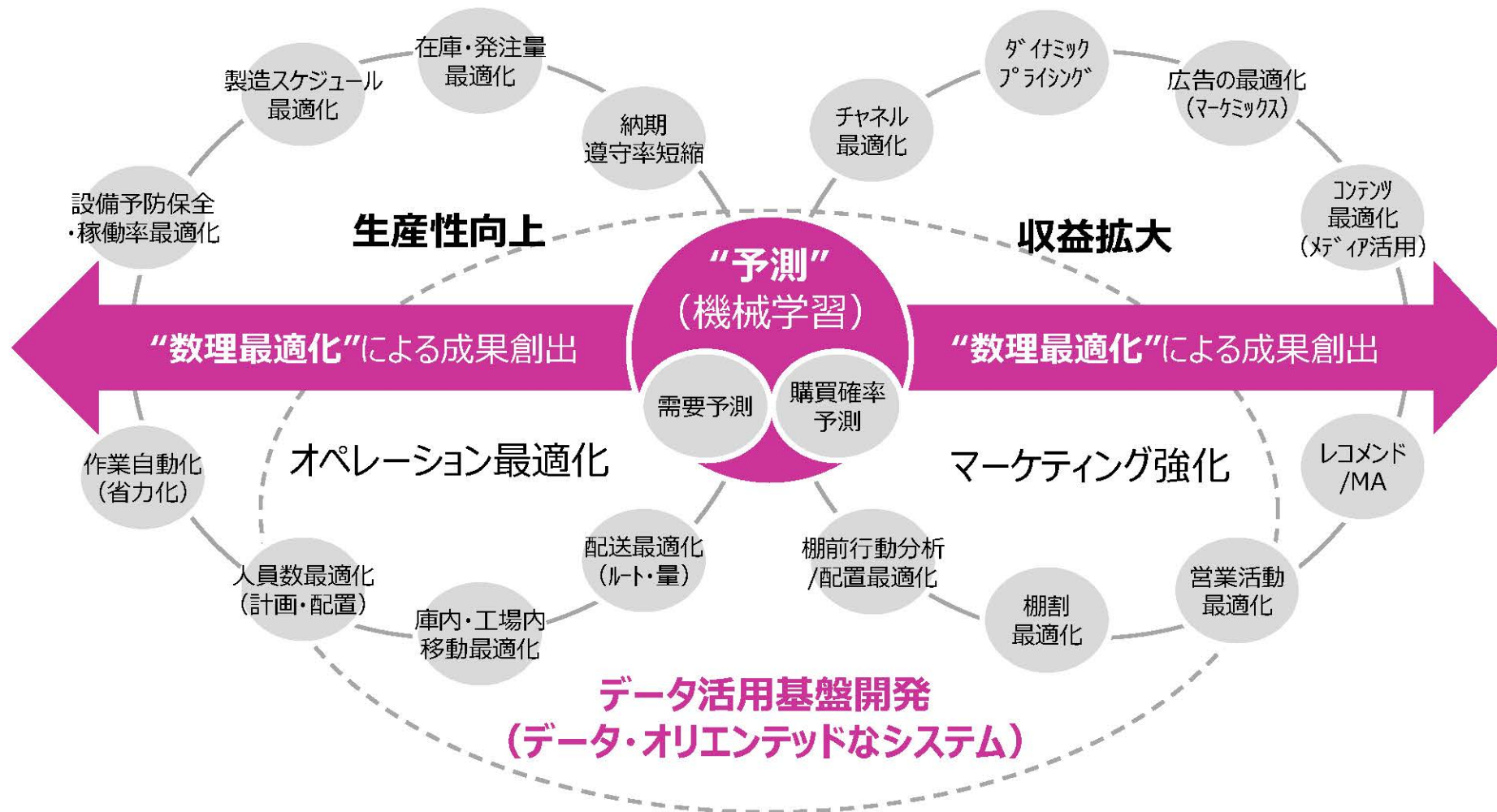
JIS Q 15001
認証番号: 10822646



認証・制度
ISO (JIS Q) 27001

認証の登録範囲は、Webレコメンデーションならびに
広告配信技術、データ分析技術を利用したSaaS
サービスです。

予測・最適化技術をコアとした価値創造支援



DXパートナーとしての当社の強み

データ分析・アルゴリズム開発

- 150名を超えるデータサイエンティスト/データ活用人材
- データサイエンティスト協会/JDLAの運営等、データ活用推進への協力

業界最高峰の技術力

- グローバル・トップクラスのテクノロジー企業と強固なアライアンス*3
- クラウドベースの次世代型システム開発

*3: Google Cloud, Microsoft, AWS, NVIDIA, SAP, 等

データ活用インフラ整備

データ駆動型組織開発・人材育成

- 創業より培ったデータ活用人材の人材マネジメント*1に関する深い知見と仕組み
- 受講者 5万人を超す、企業向けデータ活用人材育成の実績

*1: 採用～育成～評価

DX推進を
全方位的に支援

16年積み重ねたノウハウ

- データ分析サービス提供者として培ったセキュリティ管理体制やツール活用の知見
- データ分析において発生する数多の課題や難所を乗り越えた経験値

データガバナンス/セキュリティ対策

ブレインパッドのデータ活用人材育成サービス

各講座年5回開催(2・3・6・9・12月)

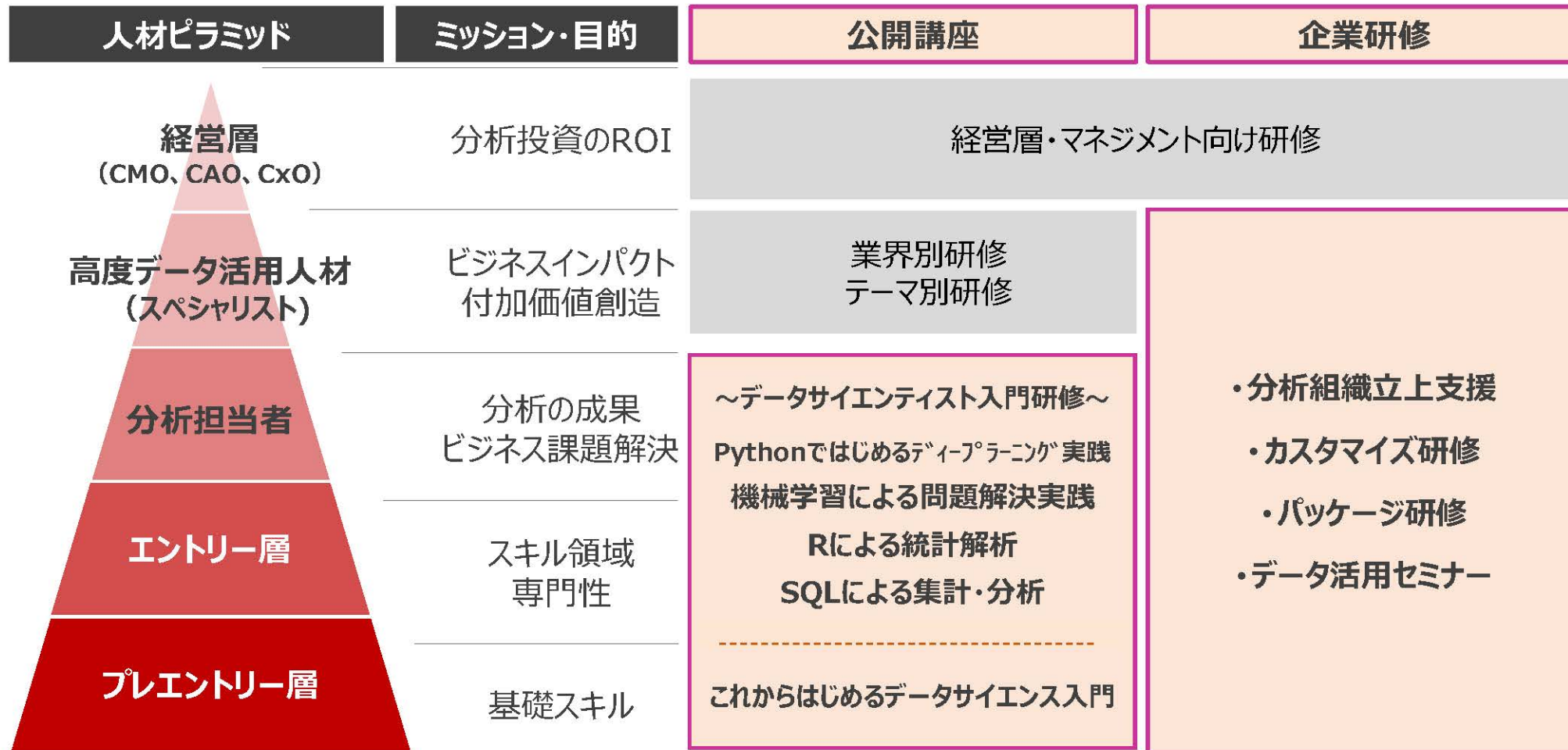
累計**550社**

1,600名以上の方が受講

累計**60社**

49,000名以上

の方に提供



奥園 朋実

株式会社ブレインパッド
アナリティクス本部 データ活用人材育成サービス部長
兼 データ活用人材育成サービス統括



2002-2010 新日本製薬株式会社 DMS課(データ分析部署)/販促企画課 マネジャー
2010～ 株式会社ブレインパッド

企業のデータ活用人材の育成サービスの事業責任者として、研修サービスの提供、事業会社内のデータ活用促進に向けたコンサルティング支援やデータ分析部署の立ち上げにも従事

【書籍・寄稿・論文・講師等】

- 総務省統計局主催 データサイエンス・オンライン講座講師「社会人のためのデータサイエンス演習」
- 日経電子版・日経産業新聞「データサイエンスって何？分析の専門家に聞こう 学び×データサイエンス」(2020年6月～)
- オンラインセミナー「DXの成功に求められる「人」「組織」の在り方とは？」(2020年6月) など多数

本日のアジェンダ

1. BrainPadの紹介

2. DX時代のデータ活用人材の方向性

3. 支援事例

DX推進における重要な5領域

ビジョン

顧客視点で価値創出するビジョンを社内外で共有できているか
人材・予算の配分、人事評価の見直しといった施策を実践しているか

推進体制

経営者のリーダーシップ（ビジネスモデルの改革推進など）は？
DXを推進する部門・役割の明確化と必要な権限の付与は？

人材

DXを推進しているリーダークラスの力量や役職は？
IT部門、事業部門の力量は？

SoR

SoRを見直す必要性を認識し、対策を実施している？
マスターデータ（コード体系含む）の管理の状況は？

SoE

データ活用による、事業強化や業務合理化の実現はできているか
AIやIoTなどを活用したSoEを構築するための力量は？